

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式					
E132K004	保健体育科授業研究(中等) (Studies in Teaching of Health and Physical Education (Junior High School))											
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
必修(～R4入学生)、選択(R5入学生～)	2	3	教育学部 令和2年度以降入学生用			氏名 玉江和義 E-mail k-tamae@oita-u.ac.jp 内線 7624						
授業の概要	中学校および高等学校における保健学習内容の基盤である学説や論理について紹介、概説する。また、授業内容や方法の開発に資する保健の研究法などについても講義する。											
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10					
目標1	保健の概要を理解する											
目標2	依拠する学説を把握する											
目標3	保健研究の意義を理解する											
目標4	保健授業のデザインを考えることができる											
目標5												
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
授業の内容												
1	オリエンテーション											
2	保健の構造											
3	保健各論(保健教育-保健学習)1											
4	保健各論(保健教育-保健指導)2											
5	保健各論(保健管理-対人管理)3											
6	保健各論(保健管理-対物管理)4											
7	生活習慣病予防を考える 1											
8	生活習慣病予防を考える 2											
9	問題行動予防を考える 1											
10	問題行動予防を考える 2											
11	安全を考える											
12	保健の研究(文献レビューの仕方)1											
13	保健の研究(疫学)2											
14	保健の研究(得られた知見の活かし方)3											
15	まとめ											
ラーニング	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	実際の各種運動実技をとおして運動技能を習得する。運動技能の習得に当たっては、必要に応じてグループディスカッションの機会も設定しながら技能の習得につとめる。各種運動実技を撮影してタブレット画面で確認しながら技能の習得につとめる				工夫 その他	適宜、発問-応答などによる相互発展的な授業を構築し、それが授業グループ間、およびグループを超えた仲間間でのPeer Teachingなどに発展するように主体的な学習を促す。					
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修 事後学修	中学校及び高等学校の学習指導要領「保健体育科」、同学習指導要領解説「保健体育科」に目を通しておく。 授業で扱った内容について、将来の授業担当のために新聞等資料、インターネット検索によって資料集を作成する。										
教科書	資料配布											
参考書	学習指導要領「保健体育科」 同学習指導要領解説「保健体育科」											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	小テスト	15%										
	実践的演習	15%										
	課題テスト	70%										
注意事項	正当な理由なき遅刻や欠席には厳正に対処する。 授業における準備(授業前の検温や体調管理、マスク着用、資料集などの用意、など)を万全にして受講されたい。											
備考	この科目は『地域創生教育科目』です。											
リンク												
	URL											

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の实務 経験	国立大学法人にて2年の経験を有する